第 39 回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会について（お礼とご報告）

第 39 回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会が、７月 22 日（土）と 23 日（日）の両日にわたり、滋賀県大津市の近江神宮勧学館等で行われました。

今大会の団体戦には都道府県予選を勝ち抜いた 57 校が出場しました。基町高校は、第 35 回大会に初めて出場して以来、４年ぶりの出場となりました。

さて、試合の経緯は以下のとおりです。

１回戦は宮城県の宮城学院高校との対戦でした。試合開始最初は少々動きが硬く見えましたが、次第にペースをつかみ４対１で勝利を収めることができました。

２回戦は岡山県の玉野光南高校との対戦でした。岡山県のチームとはこれまで中国大会でたびたび対戦しており、お互いに手の内がわかっていましたが、終始落ち着いて試合に取り組み、４対１で勝ち上がりました。

３回戦は、ベスト８入りを目指しての滋賀県の膳所高校との対戦でした。膳所高校の８人のメンバーのうち、最上位のＡ級が４人、Ｂ級が４人という強力な布陣で、早くから優勝候補の一つとしてあげられていました。一方、基町高校は、Ｂ級が４人、Ｃ級が１人、Ｄ級が４人と戦力的には明らかな大きな差がありました。基町高校は、それでも気後れすることなく最後まで集中力をもって試合に臨みましたが１対４で敗れ、今大会はベスト 16 で終えました。しかし、強豪校と戦うことができることは基町高校のメンバーにとっては本当に得難い経験で、幸福な時間を過ごすことができたと思っています。

私が「競技かるた部」（前身である「百人一首同好会」を含む）の顧問を務めて７年目を迎えます。当初は、部員が各学年に１人ずつしかいない状態で、消滅も時間の問題かと考えていましたが、奇跡的に息を吹き返し、今に至っています。ただし、現在の３年生が抜けると１年生だけになります。これまで創ってきた競技かるた部の歴史をいかに継承していくかが大きな課題です。

なお、今大会の出場にあたっては、生徒会、ＰＴＡの皆様方に多大のご支援を賜りました。また、広島エフエムの「９ジラジ」の中でも競技かるた部の様子を取り上げていただくなど、多くの人たちに応援していただきました。ありがとうございました。

今後も感謝の気持ちを忘れることなく、頑張っていきたいと思っています。応援のほど、よろしくお願いいたします。

〔大会結果〕

優勝　安積黎明（福島）　準優勝　白鴎（東京）

３位　膳所（滋賀）　４位　高崎女子（群馬）

ベスト８　高岡（富山）　浦和明の星女子（埼玉）　宇都宮（栃木）　駒場（東京）

（文責　競技かるた部参与　池本 邦彦）